

2023年4月6日
九州電力株式会社

持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点
「サーキュラーパーク九州」の構想実現に向けた事業化を決定しました
— 川内発電所跡地にて資源循環の社会実装に取り組みます —

当社は、所有する旧川内発電所跡地（2022年4月廃止：鹿児島県薩摩川内市港町）を資源循環の拠点とする「サーキュラーパーク九州」構想について、連携協定締結先（薩摩川内市、株式会社ナカダイホールディングス、学校法人早稲田大学、株式会社鹿児島銀行）や、基本構想に賛同いただいた企業・団体さまと具体的な検討を進めてまいりました。（2022年7月26日お知らせ済）

このたび、「サーキュラーパーク九州」で実施する主な事業のうち、構想の基盤となるリソーシング事業（企業や地域の廃棄物を再資源化）については、事業化の見通しが立ったことから、2023年7月を目途に株式会社ナカダイホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役：中台澄之）と共同で事業会社を設立することを決定いたしました。「サーキュラーパーク九州」の構想実現に向けて事業基盤を早期に確立するため、当初想定 of 工程よりも前倒しし2024年4月の事業開始を目指します。

また、ソリューション事業（産官学のネットワークを活用した共同研究や実証実験等）についても、引き続き協定締結先や賛同いただいた企業・団体さまと連携して検討を進め、準備が出来たものから順次実施してまいります。

当社は持続可能な社会の構築を目指し、2030年度を見据えた「サーキュラーパーク九州」の将来構想実現に向けて、今後のリソーシング事業、ソリューション事業の拡大や新事業展開等更なるステップアップに向けた検討も進め、段階的に各事業を推進していく予定です。

*サーキュラーパーク九州についてご興味をお持ちの企業・団体さまは、特設サイト（www.circular-park.jp）内のお問い合わせ先（info@circular-park.jp）からお問い合わせください。

以上